

風水害等に備えて

土砂災害の種類

突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして多くの生命や財産を奪ってしまう土砂災害は、大きく3種類に分けることができます。

がけ崩れ・山崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い。



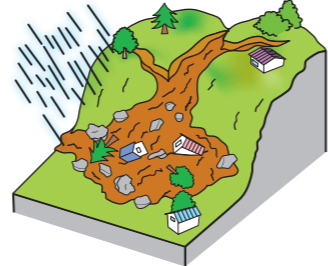
地すべり

脆弱な地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力で下方へ移動する現象。一度に広範囲で発生するために、住宅や道路などに大きな被害をおよぼす。



土石流

谷や斜面にたまった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す。強大な威力と圧倒的なスピードで進行方向にあるものを次々とのみ込み、壊滅させていく。



土砂災害から身を守るために

土砂災害の危険がせまったときには、すばやく避難することが大切です。いつもと違う大雨が降っているときには、避難準備をし、避難する覚悟をしてください。以下のような事象はすでに土砂が流れ出ている可能性がありますので、垂直避難など命を守るための避難を開始してください。

- がけからの水がにごる
- 地下水やわき水が止まる
- 斜面がひび割れ、変形がある
- 小石が落ちてくる
- がけから音がする
- 異様なにおいがする

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水がにごる
- がけや斜面から水がふき出す
- 家やよう壁に亀裂が入る
- 家やよう壁、樹木、電柱が傾く

- 山鳴りがする
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる
- 川の水がにごったり、流木が混ざったりする

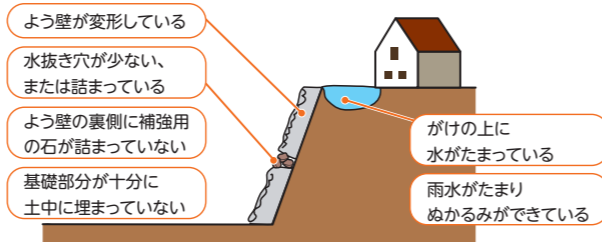
危険箇所をチェックしよう

勾配が30度以上あるがけは、大雨により崩れる危険性が高い場所です。また、がけや盛り土の崩落を防ぐためのよう壁も、その構造や築年数の経過によっては崩れる危険性があります。日ごろから家の周囲をよく見て、危険箇所がないかチェックしておきましょう。

こんながけに注意!!



こんなよう壁に注意!!



土砂災害警戒情報とは

茨城県では、水戸地方気象台と共同で、大雨による土砂災害発生のおそれが高まったときに、市町村長の避難指示等の発令や住民の自主避難の判断等の参考となるよう、「土砂災害警戒情報」を発表しています。情報は市町村単位で発表され、村の防災活動や避難指示等の判断を支援し、住民の皆さんの自主避難の判断にも利用できます。土砂災害(特別)警戒区域やその付近にいる方は、早めの避難に心掛けましょう。

気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



茨城県土砂災害警戒情報システム

<https://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/>



イエローゾーン・レッドゾーン

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

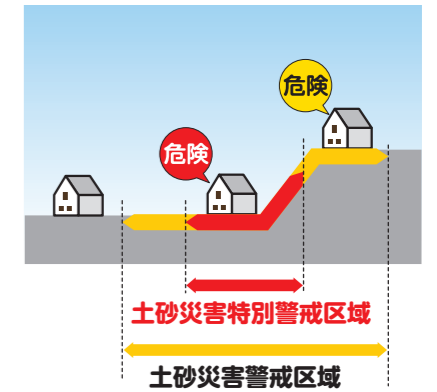
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域は、土砂災害防止法*に基づき、茨城県が指定しています。*土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域。特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



土砂災害時の心得

- 土砂災害の事象に注意し、早めの避難をする。
- 土石流やがけ崩れの起こる方向に対して横方向に避難(水平避難)する。
- 夜中や大雨の中など外へ避難を行うのが危険と感じる時は、自宅2階以上の山の反対側の部屋など堅固な建物の上階へ避難(垂直避難)することも考えましょう。
- 土砂災害警戒情報が発表された場合は、すぐに避難を行う。
- 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難を行う。



竜巻に関する情報

竜巻とはこのような現象です

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。
- ろつと状や柱状の雲を伴っています。
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します。
- 短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。被害は、長さ数km、幅数十～数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります。過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。

竜巻の発生時に、よく現れる特徴

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。



もしも「竜巻が間近に迫ってきたら」

すぐに身を守るための行動をとってください。一番良いのは、頑丈な建物の中に避難することです。

屋内にいる時は・・・

- 窓から離れる。大きなガラス窓の下や周囲は危険です。
- 雨戸やシャッターを閉める。
- 建物の1階に移動する。
- 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動する。

屋外にいる時は・・・

- 建物の中に避難する。ただし、物置、車庫、プレハブ(仮設建築物)などは危険なので避ける。
- 電柱や樹木は倒壊することがあるので近づかない。
- 頑丈な構造物の物陰に入って身を小さくして、頭と首を守る。

竜巻注意情報について

竜巻注意情報(気象庁)

<http://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/>

竜巻注意情報は、積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風に対して注意を呼びかける情報で、雷注意報を補足する情報として、各地の気象台等が担当地域を対象に発表します。有効期間を発表から1時間としていますが、**注意すべき状況が続く場合には、竜巻注意情報を再度発表します。**この情報は防災機関や報道機関へ伝達するとともに、気象庁ホームページの「気象情報」ページでお知らせします。**発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。**

竜巻発生確度ナウキャスト

気象庁・防災気象情報

常時(10分毎)

ナウキャストで詳細な領域を把握できます。激しい突風が発生する可能性が高い領域を2段階の発生確度で表します。

PC

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

携帯電話

<http://www.jma.go.jp/jp/bosaijoho/m/radnowc/>

※携帯端末でご覧になる場合は、国土交通省防災情報提供センター(携帯端末用)から「気象ナウキャスト」を選択してください。